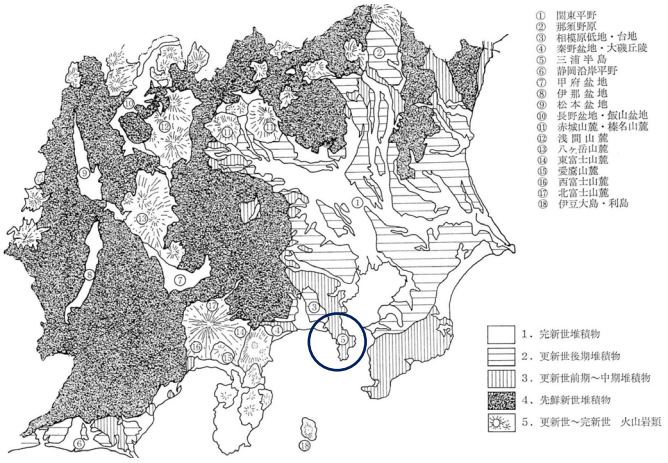
5.三浦半島



地形・地質

三浦半島は，東京湾口の西側に位置し，東京湾と相模湾を画する小さな半島です。中央部に急な山地がありますが，大部分は 100m 以下の丘陵地です。地質は比較的古期の地層である新第三紀中新世の堆積岩が広く分布します。

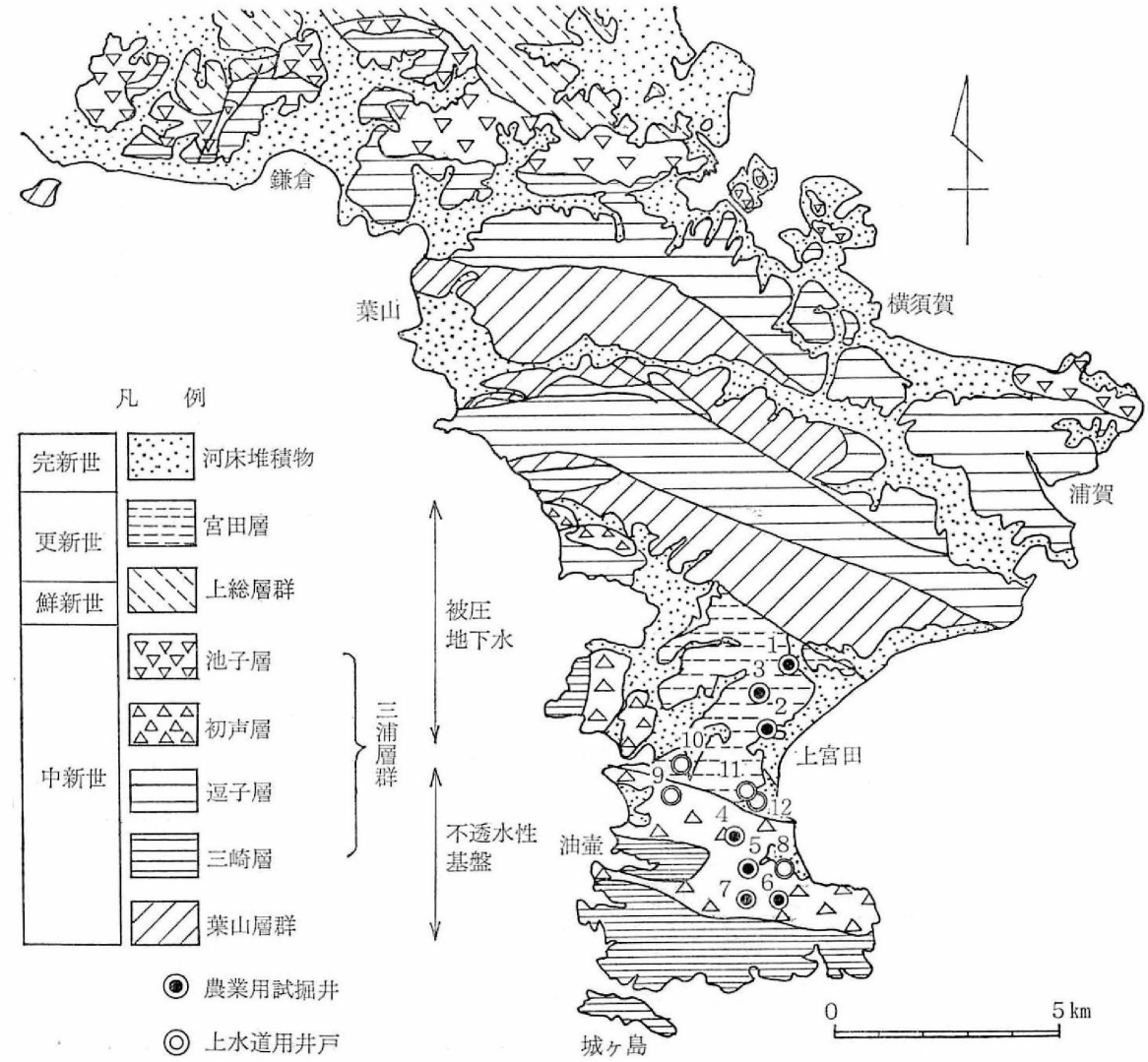
深井戸一覧表

番号	帯水層 地層名	帯水層 岩質	井戸深度 (m)	自然水位 (m)	揚水水位 (m)	揚水可能量 (m^3/d)	比湧出量 (m/d/m)
1	宮田層	細砂～中砂	110	34.5	40.2	630	111
2	〃	粗砂	120	39.7	48.9	2,400	266
3	〃	粗砂，砂礫	110	6.0	26.3	2,400	120
4	初声層	黒色火山砂からなる砂岩	92	4.4	23.7	720	37
5	〃	軽石粒のみからなる細礫岩，砂岩	85	12.2	29.4	1,400	82
6	〃	黒色火砕物質からなる砂岩，細礫岩	100	1.6	24.6	2,060	89
7	〃	〃	100	9	51.9	680	15.8
8	〃	不明	40	6.1	26.3	385	16.5
9	〃	〃	100	不明	38.1	22	不明
10	宮田層	〃	56	〃	22.5	648	〃
11	宮田層＋(初声層？)	〃	100	〃	18.6	252	〃
12	〃	〃	100	〃	19.8	252	〃

(注)　1～7　農業用試掘井
　　8～12　上水道用井戸
　　番号は図 2-3-59 と対応する。

地下水

三浦半島における地下水開発は，地表水に乏しい南部地域を中心に，水道および農業用水源の確保を目的として行われてきました。更新世の宮田層や三浦層群の初声層から上水道井戸の採水がおこなわれています。



三浦半島の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）